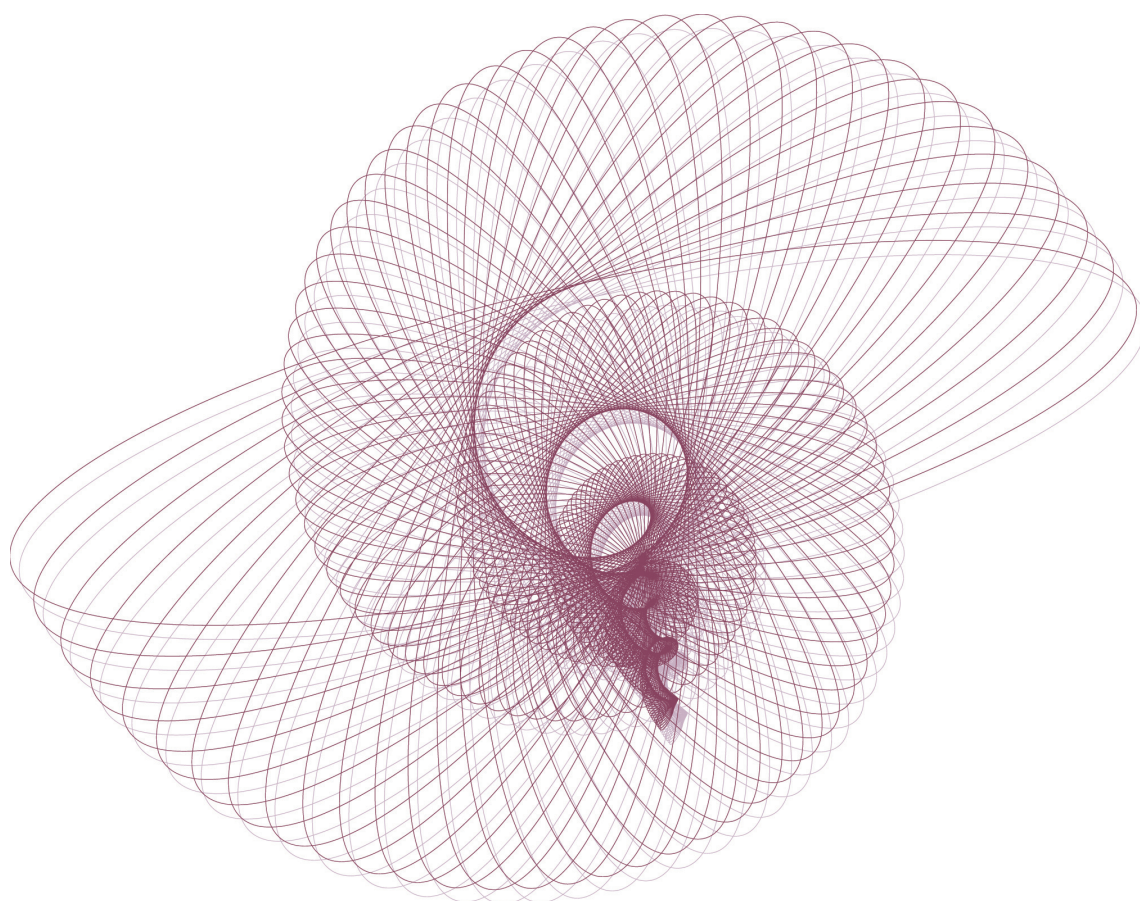


# 日本語版PSP(個人的・社会的機能遂行度尺度)

## 評価トレーニングシート ver.1.0



社団法人  
**JSPRS** 日本精神科評価尺度研究会

2011 年 1 月

日本語版PSP（個人的・社会的機能遂行度尺度）評価トレーニングシート ver.1.0

評価日： 年 月 日 第 週 評価者： 患者：

日本語版PSP（Personal and Social Performance Scale）ワークシート

患者の前回来院時以降の機能レベルについての評価を行う。

被験者が、他人から手助けを受けたり、他人に促されることなく生活している環境下で、何ができているか、またはできると思われるかということを考慮する。

領域 a, b, c には多くの下位領域が含まれるので、各領域のスコアは、最も適切な下位領域について、対象となる評価期間中における最悪の機能のレベルを考慮して評価を行う。

領域 b の下位領域は、仕事、勉強、その他社会的に有益な活動（たとえば家事、ボランティア活動、園芸等の「有用な」趣味）である。

領域 c の下位領域は、パートナーとの関係、家族関係、および社会的なつながり、またはそのいずれかである。

その他の領域については、主要な 4 領域（障害の自己管理、関心事および情報、電話をかけるなど道具を用いた活動、旅行）とは異なり、それぞれ 10 ポイント間隔以内でスコアを変更してもよい。

最近何か危機的な出来事があった場合には、危機的な出来事の起きた時期についての評価と、危機的な出来事が起こるまでの直近 1 か月間についての評価の 2 回の評価を行う。

この評価尺度では、a) セルフケア、b) 社会的に有用な活動（仕事および勉強を含む）、c) 個人的・社会的関係、d) 不穏な・攻撃的な行為の主要な 4 領域についての機能のレベルを検討する。

困難のレベルを判断する際には、領域 a ～ c に対してと、特異的な領域 d に対しての、2 種類の操作的な基準が用意されている。

重症度 領域 a ～ c

- i) なし
- ii) 軽度 — ここでは被験者のことをよく知っている人のみが気づいているものと定義される。
- iii) 明らか — しかし顕著ではない。困難があることは誰の目にも明らかに気づくが、被験者の社会文化的状況、年齢、性別、教育程度などを考慮すると、被験者が対象領域において自己の役割を果たす能力に大幅な支障を来すほどではない。
- iv) 顕著 — 困難により、対象領域における役割遂行に大きな支障を来している。しかしながら、不十分であったり時折であったりするものの、専門的・社会的な援助なしにある程度のことができる。誰かの手助けがあれば、被験者は以前の機能のレベルに到達することができる場合がある。
- v) 重度 — 困難のために、被験者は対象領域において専門家の手助けなしには何の役割も遂行できない、または破壊的な役割へと導かれる。ただし、生命への危険性はない。
- vi) 最重度 — 障害および困難の程度が、被験者の生存を危険にさらすほどに高い。自殺思考が社会的な機能に支障を来しているときは、自殺の危険性も考慮に入れるべきである。

重症度 領域 d

- i) なし
- ii) 軽度 — 軽度の不作法、非社会性、または不平を言うことなどが相当する。
- iii) 明らか — 大きすぎる声で話す、他人との話し方が馴れ馴れしすぎる、社会的に受け入れられないような食べ方をする、など。
- iv) 顕著 — 公衆の面前で服を脱いだり、排尿したりするなどの危うい行動ではないものの、公衆の面前で他人をばかにする、器物を破壊する、社会的に不適切な行動を行うことが「時折」ではなく、しばしば存在する。
- v) 重度 — 重傷を負わせる意図や可能性はないが、言語的な威嚇や身体的な暴行が「時折」ではなくしばしば存在する。
- vi) 最重度 — 重傷を負わせる意図があるか、またはその可能性の高い攻撃的な行為が、「時折」ではなく、存在することと定義される。

不穏な行為が対象期間中に 1 ～ 2 回起きただけで、今後 6 ヶ月以内に再び起きるとはまず考えられないと精神保健専門家および介護者が判断する場合、その不穏な行為は「時折」として扱う。

不穏な行為が「時折」と判断される場合、重症度を 1 ランク下げて評価する（たとえば、v) 重度は vi) 顕著となる）。

各主要領域における問題の重症度の評価を行う際には、以下の表を用いてもよい。

	なし	軽度	明らか	顕著	重度	最重度
a) セルフケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b) 社会的に有用な活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c) 個人的・社会的関係	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d) 不穏な・攻撃的な行動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**PSP 総得点のガイドライン**

- 100～71：これらの評点は、軽度の困難さのみを反映している。
- 70～31：これらの評点は、さまざまな程度の障害を反映している。
- 30～0：これらの評点は、患者が集中的な支援あるいは管理が必要なぐら貧弱な機能レベルを反映している。

**個人的・社会的機能遂行度尺度（PSP）－ 主要 4 領域スコアを基にした総スコアの解説**

- 100～91：主要 4 領域のすべてにおいて優れた機能性。被験者は良質に考慮し、高い検討能力を保持しており、生活全般に十分に対処することができ、広範囲にわたる関心事や活動に携わっている。
- 90～81：主要 4 領域のすべてにおいて十分な機能レベルで、一般的な問題や困難だけが存在する。
- 80～71：領域 a～c の 1 領域以上で軽度の困難。
- 70～61：領域 a～c の 1 領域以上で、明らかな、しかし顕著ではない、困難があるか、または領域 d で軽度の困難。領域 b については、機能が十分に遂行されていれば、作業所（などの施設）も含める。
- 60～51：a～c のうち 1 領域だけに顕著な困難があるか、または領域 d で明らかな困難。
- 50～41：領域 a～c のうち 2～3 領域で顕著な困難があるか、あるいは領域 a～c のうち 1 領域だけに重度の困難があるがその他の 2 領域では顕著な困難ではない。領域 d は顕著な困難ではない。
- 40～31：領域 a～c の 1 領域だけに重度の困難があり、その他の 2 領域のうち少なくとも 1 領域で顕著な困難がある。または領域 d で顕著な困難。
- 30～21：領域 a～c の 2 領域で重度の困難があるか、または、領域 a～c では重度および顕著な困難がなくても、領域 d で重度の困難。
- 20～11：領域 a～c の全てが重度の困難。または、領域 a～c では重度および重度の困難がなくても、領域 d で極めて重度の困難である。もし対象者が外的な促しに反応すれば 16～20 点が妥当で、そうでなければ 11～15 点とする。
- 10～1：基本的な機能性において自立性を欠いており、極端な行為があるが、生命への危険性はない（6～10 点）、あるいは、栄養不良、脱水、感染、顕著に危険な事態を認識できない等のために生命への危険性がある（1～5 点）。

**SIGPSP (Structured Interview Guide for Personal and Social Performance Scale)**  
**個人的・社会的機能遂行度尺度のための構造化面接**

稲田 俊也, 山本 暢朋, 相澤 玲, 稲垣 中

この構造化面接ガイドは、個人的・社会的機能遂行度尺度（PSP）の評価の信頼性を高めるために、面接内容や評価方法を標準化することを目的として作成されたものである。PSP は主として精神障害を有する患者の個人的機能、社会的機能の遂行度を評価するための尺度であり、被験者の重症度評価を行うにあたり十分な情報を得られるよう必要な質問文が集められた面接ガイドである。

評価者は原則として、構造化面接に用意された全ての質問を順に行い、できる限り被験者自身から回答を得るようにする。必要な情報を得るために評価者は適宜、追加で質問を行うようにする。特に、構造化面接の質問に対して、「問題となる症状や行動がある」と答えた場合、その頻度や重症度についても確認するようにする。評価面接における被験者からの回答だけでは情報収集が十分でない場合には、介護者・看護者などの医療スタッフ、家族などからの情報も参考にして総合的に評価を行う。特に、領域 a～c の評価において被験者が評価面接の際に全く問題がないと答えた場合でも、「なし」か「軽度」かの確定的な評価を行うために、家族や看護者など被験者の生活状態をよく知っている人からの情報も参考にして評価を行う。

被験者の精神障害が重症化するにともない、個人的・社会的遂行機能の障害にも影響を及ぼすのは事実であるが、この評価尺度を用いた評価は、被験者が罹患している精神障害に中核的な精神病理学的症状の重症度を評価するのではなく、被験者の個人的・社会的遂行機能に焦点を当てて評価を行う。社会機能の改善や社会との関係性を評価するにあたっては、動揺性にみられる状態像であるのか、一定してみられる状態像であるのかは、ある程度の期間をかけて観察した後、平均的な状態像を把握する必要がある。このため、少なくとも最近 4 週間程度の被験者の状態を考慮して重症度評価を行うようにする。重症度の変化を評価する場合には、評価の間隔は少なくとも 4 週間あけて行うことが望まれる。

PSP 英語版：Morosini PL, Magliano L, Brambilla L, Ugolini S, Pioli R: Development, reliability and acceptability of a new version of the DSM - IV Social and Occupational Functioning Assessment Scale (SOFAS) to assess routine social functioning. Acta Psychiatr Scand 101(4): 323-329, 2000

日本語版：稲田 俊也, 山本 暢朋

SIGPSP 日本語版：稲田 俊也, 山本 暢朋, 相澤 玲, 稲垣 中

## A セルフケア Self-care

### ◆ 質問文 領域 a

最近1 ヶ月間のあなたの状態について伺います。  
この1 ヶ月間、あなたは自分の身の回りのことがどのくらいできましたか。  
あなたは今、どこに住んでいますか。  
(入院中ですか。グループホームや施設ですか。)

#### <食事>

この1 ヶ月間、食事は1日に何回とっていますか。  
1人で食事ができますか。それとも誰かの介助が必要ですか。  
誰かに促されないと食事ができないことがありますか。  
十分に食事をとることができますか。

#### <服薬>

薬を処方されていますか。  
指示された通り、忘れずに服用することができますか。  
誰かに服薬を促されたりすることがありますか。

#### <入浴>

どのくらいの頻度でお風呂にはいりますか。  
自分でテキパキと入浴することができますか。  
誰かに促されないと入浴できないことがありますか。  
入浴するのに誰かの介助が必要ですか。

#### <洗面>

毎日、朝晩、歯を磨きますか。1日に何回ぐらい歯を磨きますか。  
毎朝、顔を洗いますか。  
(男性の場合) 毎朝、ひげを剃りますか。  
どれくらいの頻度でひげを剃りますか。  
(女性の場合) 毎日、出かける前に化粧をしますか。  
どれくらいの頻度で化粧をしますか。  
誰かに促されないと歯磨き・洗顔・ひげ剃り(化粧)を忘れることがありますか。  
(歯磨き・洗顔・ひげ剃り(化粧)を)誰かに手伝ってもらうことがありますか。

#### <着衣>

この1 ヶ月間、服装のみだしなみはちゃんとしていましたか？  
自分でテキパキと着替えることができますか。  
それとも着替えの際に誰かの介助や手助けが必要ですか。  
何日ぐらいで服を着替えますか。

vm5I1000451hNJ8

### ◆ 重症度 領域 a 当てはまる評点にチェックをしてください。

なし	軽度	明らか	顕著	重度	最重度
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



## B 社会的に有用な活動(仕事および勉強を含む) Socially Useful Activities (including work and study)

### ◆ 質問文 領域 b

この1 ヶ月間, あなたはどのように時間を過ごしていましたか。

#### <仕事(社会人の場合)>

仕事はしていますか。

週に何日(何時間)ぐらい仕事の予定が入っていますか。

どのくらいの頻度で出勤しましたか。

この1 ヶ月間, 何日ぐらい休むことができましたか。

#### <学校(学生の場合)>

学校には行っていますか。

週に何日(何時間)ぐらい学校へ行く予定が入っていますか。

どのくらいの頻度で登校しましたか。

この1 ヶ月間, 何日か休むことができましたか。

#### <家事(主婦の場合。被験者が在宅で生活しているケースも、適宜たずねる)>

この1 ヶ月間, (炊事・掃除・洗濯などの)家事はできましたか。

(炊事・掃除・洗濯などの中で)何かできない家事がありましたか。

毎日, 同じように家事ができましたか。

この1 ヶ月間, どのくらいの頻度で休むことができましたか。

#### <グループ活動>

この1 ヶ月間, 仕事(家事・学校)以外の何かのグループ活動(サークル, クラブ活動, 支援団体, スポーツチーム, ボランティア活動, 宗教活動など)に参加しましたか。

この1 ヶ月間, どのくらいの頻度でグループ活動へ参加する予定が入っていますか。

どのくらいの頻度で参加しましたか。

この1 ヶ月間, 何回か休むことができましたか。

#### <治療プログラム>

この1 ヶ月間, (ラジオ体操・作業療法・社会技能訓練・デイケア・リワークなどの)治療プログラムに参加していましたか。

どのくらいの頻度で参加していましたか。

この1 ヶ月間, 何回か休むことができましたか。

#### <休日の過ごし方>

仕事や学校が休みの日(家事をしなくていい時)はどのように過ごしていましたか。

何か趣味(旅行・スポーツ・読書・散歩など)や習い事(美術・音楽・スポーツなど)をしていますか。

それはどのくらいの頻度でしていますか。

この1 ヶ月間で, それができなかったことはありましたか。

### ◆ 重症度 領域 b 当てはまる評点にチェックをしてください。

vm5I1000451hNJ8

なし	軽度	明らか	顕著	重度	最重度
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

C 個人的・社会的関係 Personal and Social Relationships

◆ 質問文 領域 c

この1 ヶ月間, 親しい人たちとどのようにつき合っていたのか話してください。

<家族・友人>

家族や友人などで親しい人がいますか。  
誰と仲がいいですか。

家族や友人などと会いますか。  
どのくらいの頻度で会いますか。  
どのくらいの時間を家族や友人と一緒に過ごしましたか。

家族や友人と電話で話をしますか。  
どのくらいの頻度で電話で話をしますか。

家族や友人とメールのやりとりをしますか。  
どのくらいの頻度でメールのやりとりをしていますか。

1日のうちどれくらい1人で過ごしましたか。

<社会的つながり>

職場や学校の知り合い・病院スタッフなど, 職場・学校・病院などで親しい人がいますか。  
誰と仲がいいですか。

職場や学校の知り合い・病院スタッフなど, 家族や友人以外の人たちとはうまくやっていますか。  
電話やメールのやりとりをしますか。

vm5I1000451hNJ8

◆ 重症度 領域 c 当てはまる評点にチェックをしてください。

なし	軽度	明らか	顕著	重度	最重度
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

D 不穏な・攻撃的な行為 Disturbing and Aggressive Behaviors

◆ 質問文 領域 d

この1 ヶ月間, 他人や自分自身にとって, 攻撃的な行動がありましたか。

<口論や不適切な行動>

他人に対してすぐに苛立ったりしましたか。

誰かと口論になったり, 誰かにむかって声を荒げたり, 怒鳴りつけたりするようなことがありましたか。

(「見知らぬ人に対して馴れ馴れしく話をした」, 「話し声が大きすぎたり早すぎたりして他人を困らせた」, 「身なりが異様だった」など) 後で冷静になって考えてみたら, ちょっと行き過ぎた行動だったとか, やり過ぎてしまったなと思うような行動がありましたか。

この1 ヶ月間, このような苛立ちや行き過ぎた行動はどのくらいの頻度でありましたか。

<破壊的活動・暴力>

イライラして, 物を投げつけたり, 家具や壁をたたきつけたりすることがありましたか。

イライラして, 物にあたったり, 実際にものを壊してしまったりすることがありましたか。

暴行を加えるような発言や暴力を振るうような態度で威嚇するなどして, 他人を脅したり他人に攻撃的な行動をとったりするようなことがありましたか。

誰かと喧嘩をしたり, 怒りが収まらずに実際に他人に暴行を加えたりするようなことがありましたか。

<自傷・自殺>

この1 ヶ月間, 自分を傷つけたり, 自殺を試みたりすることがありましたか。

そのことで, 失業や入院など, 身体的・精神的・社会的な面で何か影響はありましたか。

vm5I1000451hNJ8

◆ 重症度 領域 d 当てはまる評点にチェックをしてください。

なし	軽度	明らかな	顕著	重度	最重度
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

日本語版PSP（個人的・社会的機能遂行度尺度）全項目評価用紙

評価日： 年 月 日 第 週

患者： 評価者：

当てはまる重症度にチェックをしてください。

	なし	軽度	明らか	顕著	重度	最重度
a) セルフケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b) 社会的に有用な活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c) 個人的・社会的関係	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d) 不穏な・攻撃的な行動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
総得点						点

重症度

領域 a～c

- i) なし
- ii) 軽度 — ここでは被験者のことをよく知っている人のみが気づいているものと定義される。
- iii) 明らか — しかし顕著ではない。困難があることは誰の目にも明らかに気づくが、被験者の社会文化的状況、年齢、性別、教育程度などを考慮すると、被験者が対象領域において自己の役割を果たす能力に大幅な支障を来すほどではない。
- iv) 顕著 — 困難により、対象領域における役割遂行に大きな支障を来している。しかしながら、不十分であったり時折であったりするものの、専門的・社会的な援助なしにある程度のことができる。誰かの手助けがあれば、被験者は以前の機能のレベルに到達することができる場合がある。
- v) 重度 — 困難のために、被験者は対象領域において専門家の手助けなしには何の役割も遂行できない、または破壊的な役割へと導かれる。ただし、生命への危険性はない。
- vi) 最重度 — 障害および困難の程度が、被験者の生存を危険にさらすほどに高い。自殺思考が社会的な機能に支障を来しているときは、自殺の危険性も考慮に入れるべきである。

領域 d

- i) なし
- ii) 軽度 — 軽度の不作法、非社会性、または不平を言うことなどが相当する。
- iii) 明らか — 大きすぎる声で話す、他人との話し方が馴れ馴れしすぎる、社会的に受け入れられないような食べ方をする、など。
- iv) 顕著 — 公衆の面前で服を脱いだり、排尿したりするなどの危うい行動ではないものの、公衆の面前で他人をばかにする、器物を破壊する、社会的に不適切な行動を行うことが「時折」ではなく、しばしば存在する。
- v) 重度 — 重傷を負わせる意図や可能性はないが、言語的な威嚇や身体的な暴行が「時折」ではなくしばしば存在する。
- vi) 最重度 — 重傷を負わせる意図があるか、またはその可能性の高い攻撃的な行為が、「時折」ではなく、存在することと定義される。

総得点

PSP 総得点のガイドライン

- 100 ～ 71：これらの評点は、軽度の困難さのみを反映している。
- 70 ～ 31：これらの評点は、さまざまな程度の障害を反映している。
- 30 ～ 0：これらの評点は、患者が集中的な支援あるいは管理が必要なぐら貧弱な機能レベルを反映している。

主要 4 領域スコアを基にした総スコアの解説

- 100 ～ 91：主要 4 領域のすべてにおいて優れた機能性。被験者は良質に考慮し、高い検討能力を保持しており、生活全般に十分に対処することができ、広範囲にわたる関心事や活動に携わっている。
- 90 ～ 81：主要 4 領域のすべてにおいて十分な機能レベルで、一般的な問題や困難だけが存在する。
- 80 ～ 71：領域 a～c の 1 領域以上で軽度の困難。
- 70 ～ 61：領域 a～c の 1 領域以上で、明らかな、しかし顕著ではない、困難があるか、または領域 d で軽度の困難。領域 b については、機能が十分に遂行されていれば、作業所（などの施設）も含める。
- 60 ～ 51：a～c のうち 1 領域だけに顕著な困難があるか、または領域 d で明らかな困難。
- 50 ～ 41：領域 a～c のうち 2～3 領域で顕著な困難があるか、あるいは領域 a～c のうち 1 領域だけに重度の困難があるがその他の 2 領域では顕著な困難ではない。領域 d は顕著な困難ではない。
- 40 ～ 31：領域 a～c の 1 領域だけに重度の困難があり、その他の 2 領域のうち少なくとも 1 領域で顕著な困難がある。または領域 d で顕著な困難。
- 30 ～ 21：領域 a～c の 2 領域で重度の困難があるか、または、領域 a～c では重度および顕著な困難がなくても、領域 d で重度の困難。
- 20 ～ 11：領域 a～c の全てが重度の困難。または、領域 a～c では重度および重度の困難がなくても、領域 d で極めて重度の困難である。もし対象者が外的な促しに反応すれば 16～20 点が妥当で、そうでなければ 11～15 点とする。
- 10 ～ 1：基本的な機能性において自立性を欠いており、極端な行為があるが、生命への危険性はない（6～10 点）、あるいは、栄養不良、脱水、感染、顕著に危険な事態を認識できない等のために生命への危険性がある（1～5 点）。



---

PSP日本語版

---

稲田 俊也 いなだ としや

財団法人神経研究所附属晴和病院 副院長

山本 暢朋 やまもと のぶとも

財団法人神経研究所附属晴和病院 医師

---

PSP構造化面接(SIGPSP)日本語版

---

稲田 俊也

山本 暢朋

相澤 玲 あいざわ れい

慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

稲垣 中 いながき あたる

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 准教授

---

日本語版PSP(個人的・社会的機能遂行度尺度)評価トレーニングシート ver.1.0

---

平成 23 年 1 月 17 日 初版第 1 刷 発行

編集：稲田 俊也

発行：社団法人 日本精神科評価尺度研究会

事務局所在地 株式会社イメージブレーン内

URL: <http://jsprs.org/> E mail: [info@jsprs.org](mailto:info@jsprs.org)

制作：株式会社イメージブレーン

〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 3-23-8 ニュー石橋ビル 5F

PSP 英 語 版：Morosini PL, Magliano L, Brambilla L, Ugolini S, Pioli R: Development, reliability and acceptability of a new version of the DSM-IV Social and Occupational Functioning Assessment Scale (SOFAS) to assess routine social functioning. Acta Psychiatr Scand 101(4): 323-329, 2000

PSP 日本語版：稲田 俊也, 山本 暢朋

PSP構造化面接(SIGPSP)日本語版：稲田 俊也, 山本 暢朋, 相澤 玲, 稲垣 中

---

Printed in Japan

このディスクは、コピープロテクトされており、ディスク以外の場所（デスクトップなど）に、コピーすることはできません。